

-地域と大学を結ぶ- りえぞん No.8

編集発行：武庫川女子大学 教育研究社会連携推進室

充実する本学の地域連携活動

本学では、社会連携の活動が次第に数を増し、また継続的な活動も行われている。その中の際立った活動概要を以下に紹介するが、今年度前期は、コロナ禍で様々な活動が自粛を余儀なくされたために、掲載できる活動に限られることとなった。

[対象期間：2020.4～2020.8]

【 コロナ感染症に対する学生の活動 】

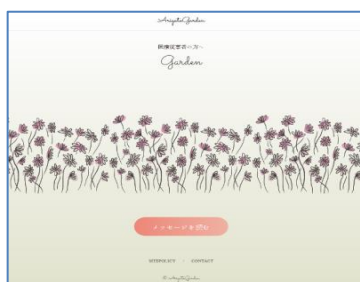
本学学生が、医療関係者をはじめとする方々に、感謝や応援のメッセージを伝えた

看護学部4年生の小島璃月さんは、youtubeに「千羽福鶴：Thank you The medical staff and essential workers」を公開。医療従事者への偏見がネットに流れていることに心を痛み、一人で千羽鶴を折り、静止画をコマ送りにする方法で1分25秒の動画を作成、医療従事者・生活必需職従事者の方たちへの感謝の気持ちを表現した。



本学 HP より

情報メディア学科3年生の中田帆乃花さんは、ネット上に「Arigato Garden」を立ち上げた。医療従事者の方をはじめ、頑張っている人に感謝や応援のメッセージを送ることができる。一人のメッセージで一つの花が咲き、たくさんのメッセージで大きな花畑になっていくというもの。



本学 HP より

自宅での健康管理のため、本学の教員・学生が作成した体操動画が、自治体のホームページに掲載

新型コロナ感染拡大で外出自粛が求められる中、自宅での健康管理のため体操動画などが自治体のホームページに掲載された。

《丹波市：お家でトレーニング》

健康・スポーツ科学科 長井勘治ゼミの4年生8人が丹波市の子どもたちに向けて「星野源さんの『うちで踊ろう』の曲に合わせて おうちの中でダンス トレーニングに取り組もう」と[ダンス動画、ダンスの内容のPDF、ダンスに取り入れた運動のチャレンジカード、トレーニングを続けるためのチャレンジシート]を提供し、丹波市のホームページで公開。

《豊能町：とよの健康体操》

豊能町で2018年に披露された、武庫女考案「とよの健康体操」の動画が、豊能町のホームページに掲載され「自宅でできる『とよの体操』で体をうごかしましょう」と呼びかけた。

【 コロナ感染症に対する研究所等の活動 】

「ポストコロナ社会の具体化のための調査検討費補助事業」に採択

兵庫県が公募を行った「ポストコロナ社会の具体化のための調査検討費補助事業」に、本学の食物栄養科学部／栄養科学研究所の取組みが採択された。

テーマは「ポストコロナ社会を見据えた兵庫県下の地域高齢者の介護予防対策の提案」

コロナウィルスの外出制限による日常生活への影響は極めて大きく、身体活動量の低下、食欲及び食事量の減少、社会活動の低下が推測される。栄養科学研究所では、ポストコロナ社会における高齢者の介護予防を目的とした日常生活支援対策の充実を図る調査実施の提案を行い、その事業が採択された。

兵庫県企画県民部ビジョン局へは109件の応募があり、34件が採択されている。

調査は西宮市で行われるが、西宮市は都市部から山間部までの多様な地理環境を有しており、兵庫県を縮小した地域である、という独自性も評価された。

本学は西宮市と地域社会の発展や人材育成に寄与することを目的とした包括連携に関する協定を締結

しており、この協定に基づいて、8月中旬から調査を実施し、調査票の分析、11月ごろには本学から西宮市に報告書を提出する予定。

新型コロナウイルスの影響で、従来の活動が制限を余儀なくされる中、高齢者の健康状態や体力にどのような影響を及ぼしたのかを把握するとともに、今後の感染再拡大に備えて、「新しい生活様式」に対応した事業展開や新たな栄養支援事業を考えるための手がかりを掴みたいと考えている。

また、本取組は「8月16日(日)神戸新聞 阪神版」にも取り上げられ、注目された取組みである。

七夕の笹飾りを遠隔で呼びかける「星に願いを@甲子園会館」を開催

甲子園会館では6月8日から7月7日まで「星に願いを@甲子園会館」として七夕の笹飾りを展示した。

笹飾りは毎年7月に「夏のチャリティ特別見学会」の中で実施している恒例行事だが、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で見学会が開催取りやめとなったことから、「遠隔で願い事を集めよう」と、Webで募集。寄せられた200余りの願い事は甲子園会館の職員が短冊に出力し、3本の笹に飾り付けた。

折り紙で作った“疫病よけ”の「アマビエ」も飾り、完成した映像をホームページで公開。七夕の星空に、コロナ禍の早期終息を祈った。



本学 HP より



本学 HP より

【 教育研究所 】

「Light It Up Blue MUKOJO!」実施

世界自閉症啓発デーと国連で定められた4月2日からの「発達障害啓発週間」の1週間、教育研究所の中井昭夫教授が中心となり「Light Up It Blue MUKOJO!2020～武庫女を青く照らそう!～」(主催：教育研究所、大学院 臨床教育学研究科、子ども発達科学研究センター 共催：FD推進委員会)とし、中央キャンパス 研究所棟を青くライトアップした。

「Light It Up Blue(LIUB)」は世界中の主なランドマークが青くライトアップされる取組み。



本学 HP より

【 情報メディア学科 】

大学が協力する地元歴史 TV 番組「ジモレキ TV 阪神武庫川線パート2」が放送

本学が制作協力している地元の歴史を紹介する TV 番組「ジモレキ TV」(ベイコム 12Ch)の最新版が4月に放映された。今回は、阪神電鉄武庫川線探険のパート2。阪神本線武庫川駅から北側の現在は廃線になっている部分を、情報メディア学科丸山健夫教授と情報メディア学科3年小林未歩さんが、痕跡を探しながら歩く。コースの途中にある本学の甲子園会館(旧甲子園ホテル)にも立ち寄った。



本学 HP より



本学 HP より

【 ひょうご理系女子未来塾 】

国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)の次世代人材育成事業「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に本学の企画が2度目の採択

「国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)の次世代人材育成事業「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」令和2年度採択機関として本学が選ばれた。採択は2度目。

同プログラムは、女子中高生の理系分野に対する興味・関心を高め、理系分野へ進むことを志すための様々な取組みを支援するもので、今年度19件の

応募があり、本学を含め 12 件が採択された。

企画タイトルは「私の未来を創造する Muko Labo 4C プロジェクトーひょうご理系女子未来塾ー」。

理工系分野に関する興味喚起や進路意識・キャリア意識の醸成、理系進路選択を後押しする保護者、教員の増加を目的として、「Muko Labo 4C プロジェクト」を展開する。

①Challenge！

実験・実習、プログラミングに挑戦
(理工系への興味喚起、裾野拡大)

②Change！

理工系のイメージの一新 (ロールモデル提示、生徒・保護者・教員の意識改革)

③Create！

文理融合型の商品開発プロジェクトでものづくり体験 (未来の夢との出会い)

④Connect！

女性研究者や理工系大学生と交流し、理系進路意識を醸成する

【 地域・自治体・企業等との連携 】

明治から昭和の着物を中心とする「武庫川女子大学衣生活資料」が、登録有形民俗文化財に登録

2020 年 2 月に開設された武庫川女子大学附属総合ミュージアムが所有する、明治から昭和の各時代の着物を中心とする「武庫川女子大学近代衣生活資料」(計 9092 点)が、登録有形民俗文化財に登録され、3 月 16 日付で文部科学省より告示された。

文化財審議会の答申では、明治・大正・昭和時代の「ハレの日」の着衣を中心とする衣生活資料で、色彩や文様、素材などを通じて、各時代の衣類の流行や世相を読み取ることが出来る等と評価された。



本学 HP より



本学 HP より

【 地域を対象とした連携推進支援事業(学内公募) 】

教育研究社会連携推進室では、本学の地域での教育研究活動のさらなる活性化を目的として、「学生が地域の自治体や自治会、その他企業や団体等と連携して実施する地域の活性化に資する事業で、且つ、学生の研究やアクティブラーニング、更には教員の研究等に有効と認められる事業」を募集し、資金的援助を行った。

2 年目となる今年は、様々な学部の先生方から特色のある 7 件の応募があり 6 件を採択した。

《支援事業一覧》

◆文学部 日本語日本文学科 准教授 設楽 馨

漢字キャラクターの子ども向け動画コンテンツ開発

◆教育学部 教育学科 准教授 酒井 達哉

鳴尾いちごを地域教材として活用した「ふるさと教育」授業づくり

◆教育学部 教育学科 教授 高木 史人

兵庫県下における昭和期の口承文芸(昔話)・方言資料収集史の分析及び昔話・方言資料活用についての研究

◆健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ学科 北島 見江

オンラインによる地域住民の運動支援の試みとその効果

◆生活環境学部 情報メディア学科 教授 大森 いさみ

地域団体商標「尼崎ちゃんぼん」を活用した地域活性化プロジェクト

◆音楽学部 応用音楽学科 准教授 多田 秀子

団地・大学プロジェクト 浜甲カンタービレ

※本事業は次年度も募集を予定している。

◆—————◆
連絡先：本館 5 階 社会連携推進課 中村・大谷
内線：6210、6212 / E-mail: shakai@mukogawa-u.ac.jp